

# 日軽フューエルタンク


## RTシリーズ 取扱い説明書


※※※ 協定規則No.34(UN R34 PartⅢ)Eマーク取得製品 ※※※

この度は、日軽フューエルタンクをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。  
この説明書をよく読んで正しくご使用ください。  
この取扱い説明書は、日軽フューエルタンクをお使いになる方がいつでも参照できるよう保管し、  
すぐ取出せるようにしてください。

**下記の安全に関する項目や警告ラベルに記載された事項は、必ず守ってください。**

### 警告シンボルについて

 **警告** 取扱いを誤った時、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

 **注意** 取扱いを誤った時、障害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。



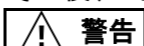
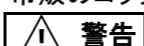


### <UN R34適用について>

当社タンクは装置型式指定(Eマーク)の協定規則No.34(UN R34 PartⅢ)を取得した製品です。  
当社指定部品以外の取付けをした場合、Eマーク適用外になりますので注意してください。  
(ALステー、SUSバンド、吊りバンドは除く。)

### <日軽フューエルタンクの基本構造>

部番	名称	個数	サイズ
1	フューエルキャップ	1	φ100
2	キャップチェーン	1	L200
3	インナーフラップ	1	-
4	フューエルパイプ	1	φ10
5	リターンパイプ	1	φ10
6	ガスケット	1	φ70
7	ユニットゲージ座ふさぎ板	1	φ70
8	なべ小ねじ	5	M5
9	ガスケット	1	φ30
10	フィルターソケット	1	M30
11	ガスケット	1	φ18
12	六角ボルト(底部ドレン用)	1	M18
13	ガスケット	2	φ16
14	六角ボルト(側面連結部用)	2	M16

### <使用上の注意>

- 燃料タンク付近は火気厳禁です。タンクの付近で火気を使用しないでください。  
 **警告** ● 思わぬ事故につながる恐れがあります。
- タンク本体に燃料の漏れがないか、ステーやSUSバンドに異常がないか、タンクの取付け位置がずれていないか日常点検でチェックしてください。  
異常が発見された時は至急、設備の整った工場での修正してください。  
ステー、バンド用ゴムなどが劣化したり、使用上問題のある時は当社の専用ゴムと交換してください。
- 走行中SUSバンドが緩むことがありますので、その時は(図-5)のナットを増し締めしてください。  
 **警告** ● 緩んだままで走行するとタンク本体が落下し事故につながる恐れがあります。
- サブタンクを連結し、メインタンクとサブタンクの両方を燃料満タンに給油した際は必ずメインタンクとサブタンクとの間の連結コックを閉じてください。  
その後、メインタンクの軽油量が半分以下になってから連結コックを開いてください。  
 **警告** ● タンクが傾斜した状態等においてコックが開いていると、下側のタンクに過度な液圧がかかり漏れる可能性があります。
- 連結用六角ボルト及びパッキンについて  
底部⑦または横部⑭の連結六角ボルトを緩めた場合、一旦ボルトを取外し一度使用したパッキンは新品に交換の上、底部⑦M18ボルトは39±3Nmのトルクにて、横部⑭M16ボルトは29±2Nmのトルクにて、締め直してください。  
市販のコック等を装着する場合は、その部品の取付方法に従ったパッキンと締め付けトルクにて施行ください。  
 **警告** ● パッキンの再利用は燃料漏れの原因となります。
- 給油時、給油ノズルが自動停止した時点で、給油を終了としてください。  
燃料の注ぎ足しは絶対におこなわないでください。  
 **警告** ● 気温の変化により燃料が膨張し漏れる可能性があります。
- キャップの劣化により燃料の滲み等が発生した場合は当社の専用キャップと交換してください。  
 **警告** ● キャップから燃料が漏れる可能性があります。

### <塗装面のメンテナンス>

本商品は綺麗なままお客様に納入させていただくためにタンク表面にクリア塗装が施されておりますが、アルミ製の美しさをだすために下地剤の処理はしていません。

このため、このクリア塗装はご使用される状況によっては剥がれる場合がありますが、返品はお受けできませんのでご注意ください。

ただし、クリア塗装を長く保つために次のメンテナンスを行うことをおすすめします。

- 燃料給油時などタンク表面が燃料で汚れた場合には、清浄な柔らかい布で軽く拭き取ってください。(スポンジ等で強くこすると塗装がはがれる恐れがあります。)
- 冬季の走行時、タンクの表面に融雪剤がついた場合や沿岸を走行し塩分がついた場合や泥などがついた場合などは、速やかに水で洗い流してください。
- シンナーやワックスなどの有機溶剤を用いますと、塗装面を痛める場合がありますので、水道水、中性洗剤などを用いてください。
- シールを無理にはがしますと塗装がはがれる恐れがありますのでシールははがさないでください。
- 高圧洗浄機やスチーム洗浄機でタンクは洗浄しないでください。(塗装が剥れる恐れがあります)

**ACT 日軽金アクト株式会社**  
Nikkeikin Aluminium Core Technology Company, Ltd.

輸送機器ビジネスユニット 〒105-8681 東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル  
Tel:03-6810-7291 Fax:03-6810-7282

**<用途>**

日軽フューエルタンクは軽油専用です。その他の用途には使用しないでください。

**警告** ●軽油以外(水など)に使用するとタンクが腐食して本体に穴があくことがあります。

**<取付け方法>**

正しい取付方法を守らない事によって生じた損傷、トラブルはクレームの対象となりません。

**1. 取付に際しては当社のALステー、専用SUSバンド、吊りバンドをお使いください。**

タンク、SUSバンド、吊りバンド組み合わせは次の通りです。

適応タンク 型式	ステーピッチ 【mm】	ALステー		SUSバンド		(吊りバンド)	
		型式	使用数	型式	使用数	型式	使用数
RT-150A	450	RS-5339	2	RB-5339	2	X	
RT-200A	650						
RT-250B	650						
RT-200B	450	RS-6050	2	RB-6050	2		
RT-250A	450						
RT-300A	650						
RT-300B	750	RS-6045	2	RB-6045	2	(HH-9999)	2
RT-400A	450	RS-6054	3	RB-6054	3		3

**2. ユニットゲージ取付け(必要に応じて)**

取付けるユニットゲージは下記の型式をご使用ください。

取付けの際にゲージ座のネジ山を傷めないようしてください。

ねじは新品を推奨しますが、流用する際はねじ部にアルミが付着していないかご確認ください。(ねじサイズ:M5-L12)

ガスケットはねじ部の穴が楕円に変形していないかご確認し、変形していた場合は新品に交換してください。

- 1) ガスケットとユニットゲージのねじ穴位相を合わせ、ねじでをガスケットにはめ込み、仮止めしてください。
- 2) ゲージ座とガスケットの識別マークの位置を合わせ、ねじを3N・mのトルクで締め付けてください。(均等に締め付けをおこなう事。) 識別マーク位置を合わせることで、ねじの位相が合います。(図-1)

**※下記以外のユニットゲージを取付けた場合、Eマーク適用外になりますので注意してください。**

**YSタンク(株)製**

YG-21N/YG-21M/HG-21N/HG-21KA/AIG-21 ( RT-200B/RT-250A/RT-300A/RT-400A)

YG-31A/YG-31B/HG-31A/AIG-31 (RT-300B)

YG-42N/YG-42M/HG-42N/HG-42K/AIG-42 (RT-150A/RT-200A/RT-250B)

**末吉工業(株)製**

SST-UB1/SST-UB2/SST-UB3/SST-UB4 (RT-150A/RT-200A/RT-250B)

SST-UC1/SST-UC2/SST-UC3/SST-UC4 (RT-200B/RT-250A/RT-300A/RT-400A)

SST-UF1/SST-UF2 /SST-UF3 (RT-300B)

**3. ALステーの取付け**

- 1) タンク取付け位置はフェンダーのゴムがタンクに直接当たらない場所にしてください。

(図-2)のようなフェンダーとタンクの間隔が狭い所に取付ける場合は、ゴムが触れやすいので防護パイプなどを取付けるようにしてください。

**注意** ●繰り返しフェンダーのゴムがタンク本体に当たると磨耗して穴があくことがあり、漏れの原因となります。

- 2) ステーの取付け位置は、タンク上面に貼り付けてあるステー取付け位置シールにステーを合せ、また車体フレームのボルト・リベット等の突起物に干渉しないことを確認して、前後方向の取付け位置を決めてください。

- 3) ステーを車体フレームに取付ける際は、φ15(M14) or φ13(M12)の穴を4ヶ所以上をあけます。

取付け穴の横ピッチWは100mm(M14 or M12)、縦ピッチhは160mm(M14) or 170mm(M12)以上です。(図-3)

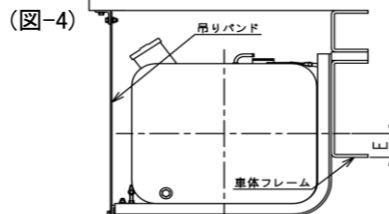
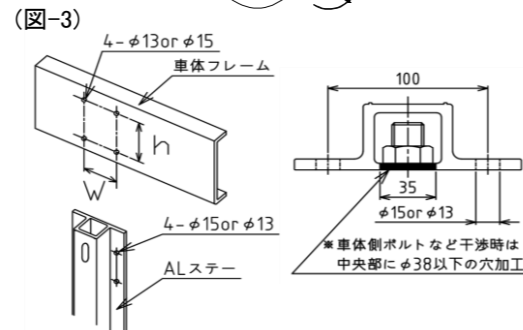
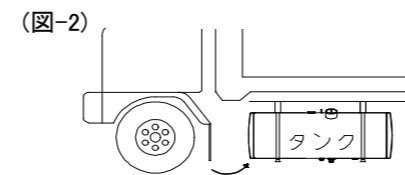
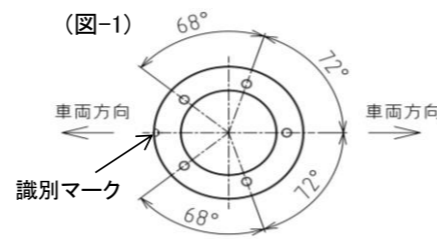
- 4) ステーが必ず水平になるよう同じ高さで取付けてください。

特にステー3本の場合は注意し、タンク自重が均等にかかるようにしてください。

- 5) 取付けボルトはM14×1.5 or M12×1.25六角ボルト、ナット、ワッシャー、スプリングワッシャーをご使用ください。

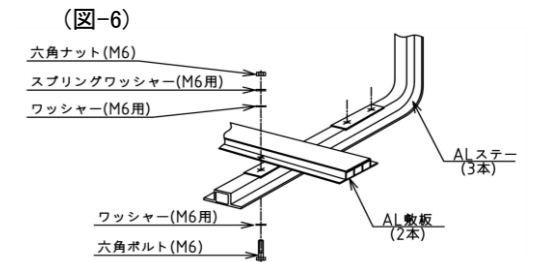
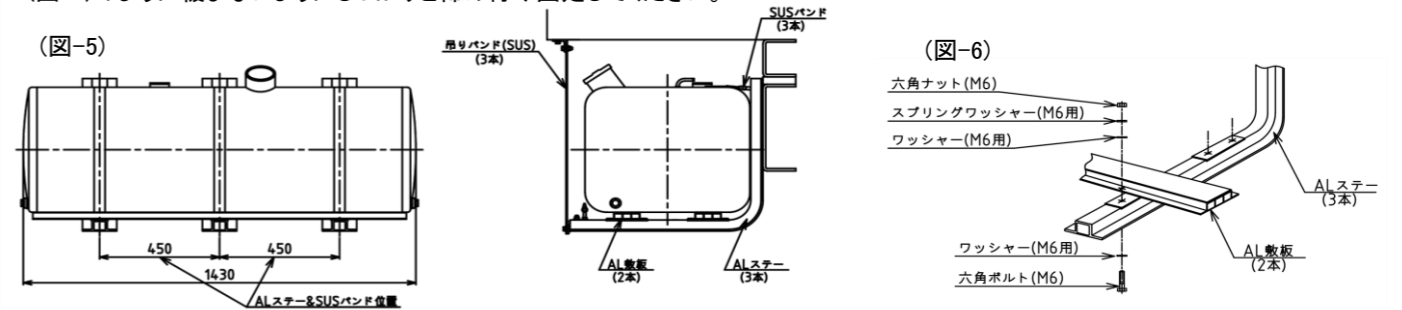
- 6) タンクの上下方向については(図-4)のようにタンクが車体フレーム下面より上になるように取付けてください。 ※(図-4)のE寸法がマイナスにならない事。

**警告** ●E寸法がマイナスになったり、ステーを水平に取付けないと、局部的に荷重がかかり、ステーが折れる恐れがあります。(特にステーが3本の場合。)



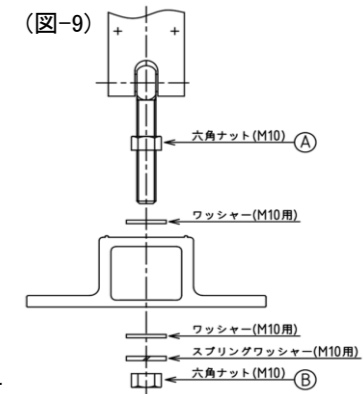
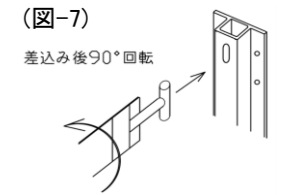
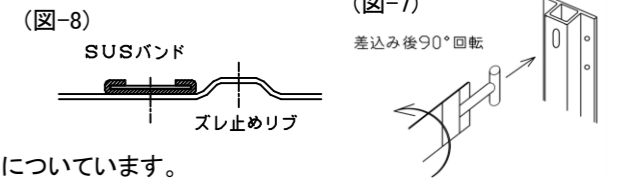
**RT-400Aタンク(部品追加)**

- 1) RT-400Aタンクは(図-5)のようにALステー、SUSバンド、吊りバンドが各3本セットになっています。またタンク下面とステーの間にAL型材製の敷板が取付きます。
- 2) RT-400Aタンクの敷板は2本ありますので付属の六角ボルト、ナット、ワッシャー、スプリングワッシャーを用いて(図-6)のように緩まないようにしっかりと締め付け固定してください。



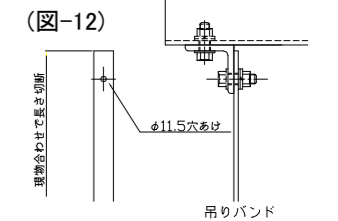
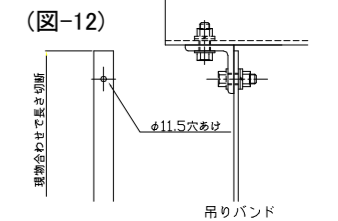
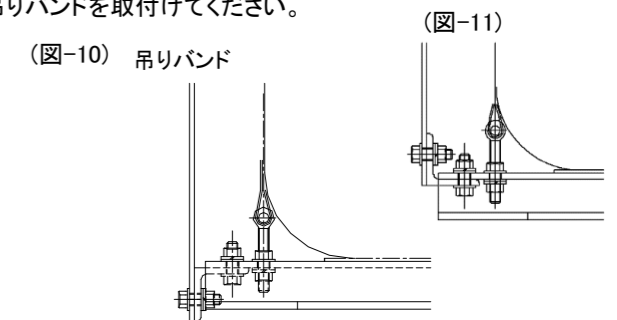
**4. タンクの取付け**

- 1) タンクを所定の位置に置き、SUSバンドのT字型先端部分を水平から90°回転してステーの上部長穴に差込みます。(図-7)
- 2) RT-300A以上のタンクには前後ズレ止め防止のリップ(突起)が上面及び正面についています。(図-8)のようにリップより内側にSUSバンドやステーが設置されるよう取付けてください。
- 3) 下部のステーとバンドの取付けは(図-9)のように六角ナット(M10)、ワッシャー、スプリングワッシャーで固定してください。このとき六角ナット(A)はネジ部の上方向に上げておき、ワッシャー、スプリングワッシャー、六角ナット(B)をセットした後、20~25N・mで締め付けてください。完全に締め付け後、六角ナット(A)を下ろし最終締め付けを実施してください。
- 4) 六角ナット(B)の締め付けに際してはステーの狭い場所での締め付けのためロングソケット又はディープソケットのレンチをご使用ください。



**5. 吊りバンドの取付け**

- 1) RT-300A以上のタンクを取付けする際には(図-4)に示すように吊りバンドの取付けを推奨しています。
- 2) タンクの容量に関係なく(図-4)のE寸法がプラス側に確保出来ない場合は吊りバンドを取付けてください。(タンク中心がシャシーフレーム下面より下になる場合。)
- 3) 吊りバンドとステーの取付け要領はステー先端のφ11.5穴を使用してM10ボルトナットにて取付けてください。(図-10)
- 4) 上部ボデーとの取付けはお客様の車に合せて吊りバンドの先端を現物合わせて切断し、φ11.5の穴をあけ(図-12)のようにアングルを介して横根太やサイドレールに取付けてください。
- 5) 低床ボデーなどに取付けの際には吊りバンドの下部が地面に当たらないよう充分間隔をとってタンクを取付けてください。この場合(図-11)のようにアングルは上向きにして取付けてください。
- 6) 吊りバンドはオプション品として準備してあります。



**警告** ●吊りバンドを取付けない場合、ステーが折れたりタンクが変形 破損する恐れがあります。

**6. その他の注意事項**

- 1) トレーラーのトラクタやローリー車のように(図-10)の吊りバンドの取付けが困難な場合、及び(図-4)のE寸法が確保できない場合は市販の鋼製ステーをご使用ください。
- 2) サブタンクを連結する時は側面連結部のM16もしくは底部ドレンM18を利用して下さい。連結用部品は鋼製タンクと互換性がありますので同一の市販品が使用できます。

**<キャップ使用方法>**

- 1) キャップの取付け角度は『U↑P』が上側になるようにしてご使用ください。(図-13)
- 2) 開け方: 鍵を差し込み、開錠位置(右)に合わせ、キャップを左一杯に回転してください。締め方: 3爪を口金切欠きに合わせ、キャップを右一杯に回転し鍵を施錠位置(左)に合わせ抜いてください。(鍵は開錠位置(右)では抜けません。)

